

インフルエンザ(2026 年第 34 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 34 週の定点当たり報告数は 1.11 (患者報告数 4,094) となり、前週の定点当たり報告数 0.69 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(4.43)、岩手県(2.10)、青森県(2.08)、神奈川県(1.99)、埼玉県(1.83)、千葉県(1.80)、茨城県(1.76)、新潟県(1.65)、鹿児島県(1.58)、東京都(1.49)、栃木県(1.34)、宮崎県(1.25)、宮城県(1.20)、北海道(1.12)、長崎県(1.08)、富山県(1.00)の順となった。全国 47 都道府県中、41 都道府県では前週の報告数よりも増加し、6 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 167 例であり、前週(120 例)から増加した。40 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(4 例)、1～4 歳(14 例)、5～9 歳(21 例)、10 代(7 例)、20 代(3 例)、30 代(4 例)、40 代(4 例)、50 代(9 例)、60 代(17 例)、70 代(34 例)、80 歳以上(50 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 30 週～2026 年第 34 週)では、AH1pdm09 が 23 件(88%)、AH3 亜型が 3 件(12%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。